

令和元年度 学校評価アンケート集計結果

本校では、学校自己評価の資料とするために、保護者や生徒、教職員を対象とした「学校評価アンケート」を実施しております。保護者の皆様には、ご多忙中にもかかわらずご協力をいただきありがとうございます。アンケートの集計結果と分析がまとまりましたのでご報告いたします。

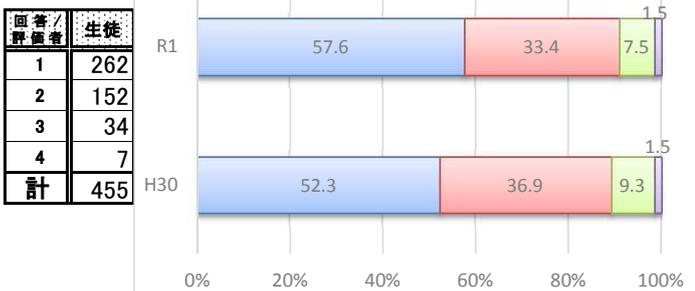
評価者数:	【1年】	【2年】	【3年】	【計】
生徒	158	149	148	455
保護者	146	116	97	359
教職員	／	／	／	31

回収率:	【1年】	【2年】	【3年】	【計】
生徒	98.8	93.7	91.9	94.8
保護者	91.3	73	60.2	74.8
教職員	／	／	／	73.8

回答番号 1. よくあてはまる ■ 2. ややあてはまる ■ 3. あまりあてはまらない ■ 4. 全くあてはまらない ■

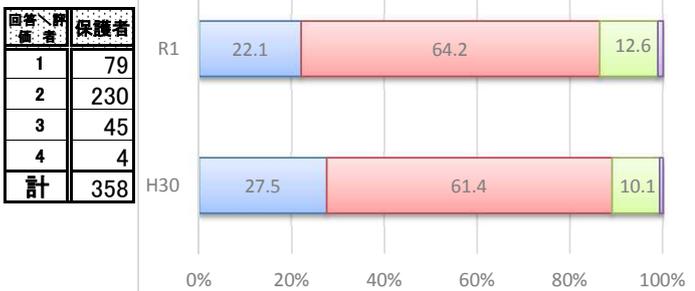
◆質問1

【生徒】1. 私は学校生活(学校行事・部活動)に積極的に取り組んでいる。



「よくあてはまる」と「ややあてはまる」の合計は、わずかな変動はあるもののここ数年はほぼ9割を維持している(本年度はやや高めの91.0%)。「全くあてはまらない」の回答についても、3年連続1.5%(7名)で変化は無かった。約9割の生徒が「学校生活に積極的に取り組んでいる」という回答結果は、ここ数年の学校生活での落ち着いた部活動での成績向上にもつながっていると感じられる。この生徒の積極性をさらに学習面や進路面等での向上にもつなげたい。

【保護者】1. 私は、黒南高の教育活動に関心がある。



肯定的回答の割合は、若干の下降はあったもののほぼ例年通りであった。ここ数年来、常に8割から9割近い保護者の方が「関心がある」と回答している。この要望に応えるべく本校の教育活動全般にわたって、積極的に情報発信していくことが必要であろう。

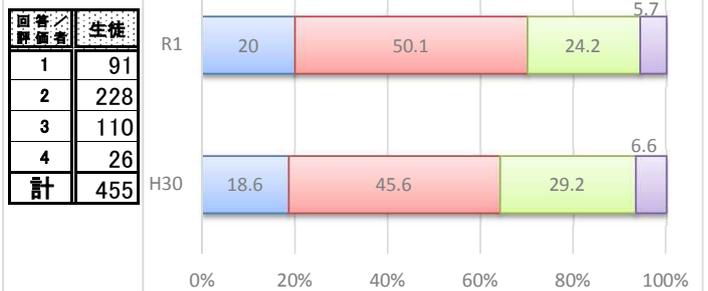
【保護者】2. 私は、黒南高のPTA活動に関心がある。



肯定的回答は若干減少したがほぼ例年並みである。肯定的回答が約6割という数字をどうとらえるかは難しいが、PTA活動は本校の教育活動の側面でもあるので、活動内容の改善を重ねながら数値を少しでも上げていくことが必要だろう。

◆質問2

【生徒】2. 私は、学習に意欲的に取り組んでいる。



本校が総合学科になってから「よくあてはまる」と「ややあてはまる」の合計は着実に増加していたが、昨年度は6.7%減少した。本年度は70.1%(前年比+5.9)に回復したが、ここ数年、肯定意見は7割前後と上げ止まりの感がある。本年度は家庭学習の習慣化のため「スタディサプリ」の宿題活用を開始した。その内容検証を行い、さらなる学習意欲の向上につなげたい。

【教職員】1. 私は、本年度の努力点(9項目)に対して、前向きに取り組んでいる。



昨年までは肯定的評価がほぼ9割であったが、本年度は10割に達した。教職員全員が目標を共有しているという、素晴らしい結果であった。しかし、その大半は「ややあてはまる」(83.9%)なので積極的評価と単純には喜べない。緊張感の継続が必要であろう。

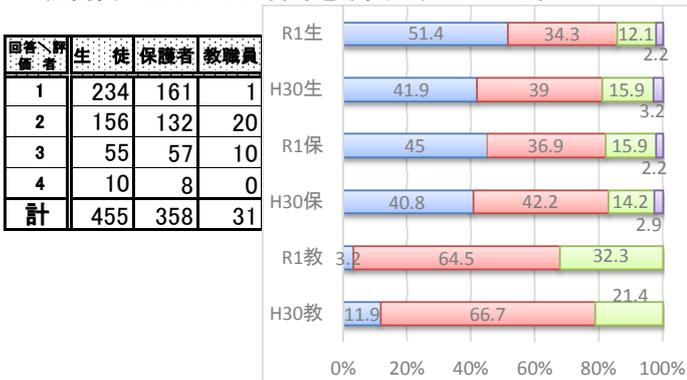
【教職員】2. 私は、本校のPTA活動に協力的である。



肯定的回答は約84%で、昨年に比べ若干の増加であった(+2.9%)。ただし、肯定的回答の大半は「ややあてはまる」(64.5%)である。やはり教職員一人一人がPTA活動の意義について考え、どう関わるかを考えていくことが大切であろう。

◆質問3

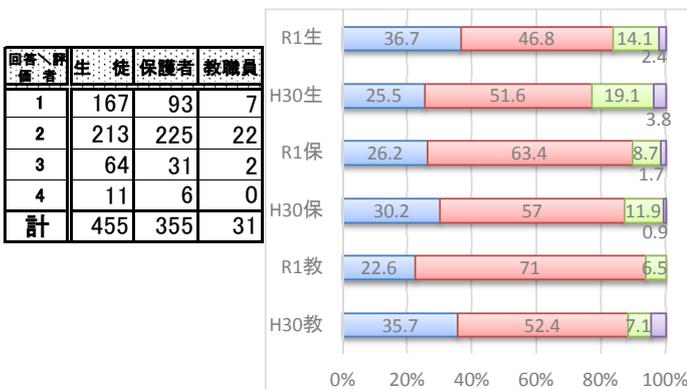
3. 黒南高で出された文書等を確実に届けている。



生徒・保護者の回答は前年と比べ大きな差異はなかったが、教職員の肯定的回答で約1割の減少が見られた。別件になるが、保護者の学校評価アンケート回収率は74.8%（前年度+2.9%）とわずかに上昇した。文書は100%親元に届くのが当然であり、学校評価アンケートでは多くの保護者の意見を集約し学校運営につなげることが目標なので、確実な配布と回収は常に課題である。

◆質問5

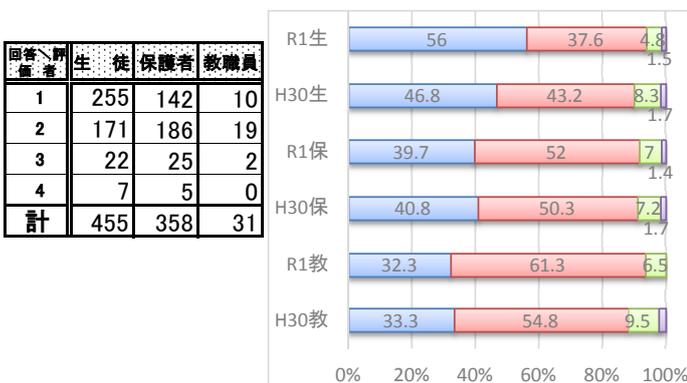
5. 黒南高は、チャイムtoチャイムを実践し授業を大切にしていると思う。



チャイムtoチャイムが実践されているという認識は生徒・保護者・教職員とも8割を超えている。総合学科という特性上頻繁な教室移動があるのは生徒にとって大変な負担であるが、今後も授業を大切にするという共通認識を持ち、実践に努めていきたい。

◆質問7

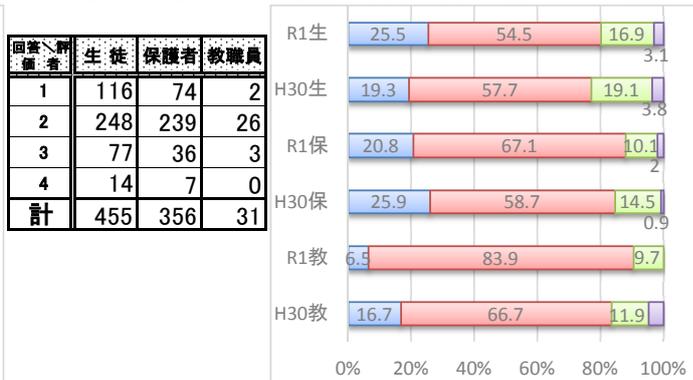
7. 黒南高は、生徒の進路希望にあった科目が設定されていると思う。



生徒、保護者は昨年度と変わらず肯定的な回答が多い。総合学科に対する生徒、保護者の高い期待に応えるためにも、今後さらなる教職員の科目設定への取り組みが必要である。

◆質問4

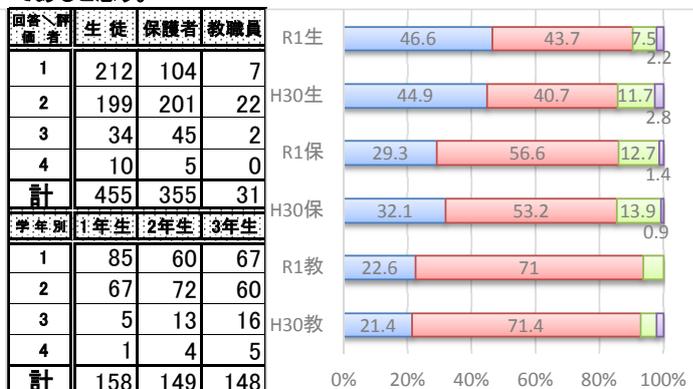
4. 黒南校は、真剣な学習態度を育成し、学力の向上に努めていると思う。



「真剣な学習態度」を身につけるために努力していると認識している割合は生徒・保護者・教職員とも80%を超えている。ただ前年度と比較し「よくあてはまる」が保護者と教職員において下がったことは問題視すべきである。「真剣な学習態度」が学力向上や進路実現に直結していることを強く認識し、実感できるだけの成果をあげていく方策を実践していくべきであろう。

◆質問6

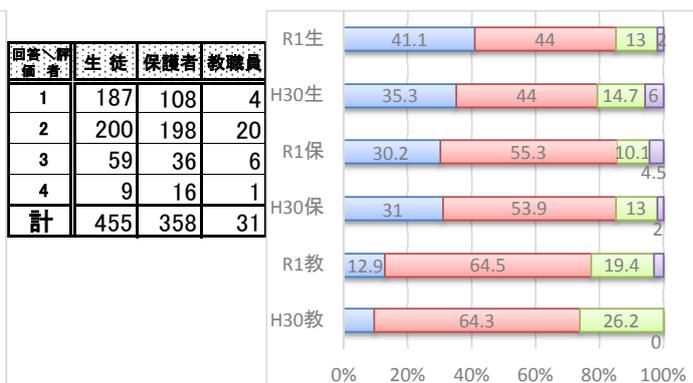
6. 黒南高は、進路情報の提供や進路相談などの進路指導が適切であると思う。



肯定的な回答は昨年を上回った。LHRの活用や各担任による日頃の努力の結果だと判断できる。ただ、保護者は「よくあてはまる」と答えた人数が減っている。生徒への指導が保護者まで行き届くような適切な指導を心がけたい。また、毎年10パーセントほどの「あまりあてはまらない」の回答をした生徒に対する働きかけの重要性が今後の課題である。

◆質問8

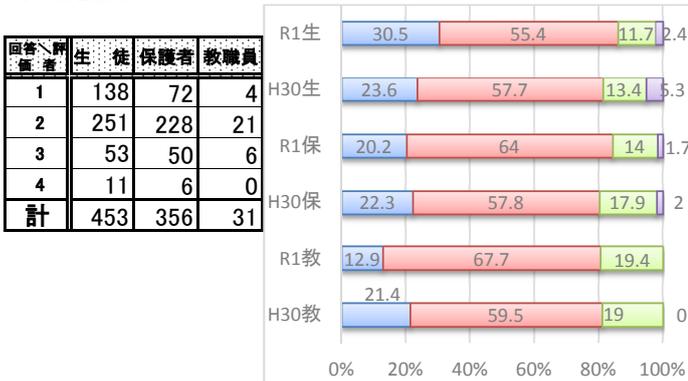
8. 黒南高は、服装・頭髪等の指導を適切にしていると思う。



昨年は生徒の8割程度が、「よくあてはまる」「ややあてはまる」と回答していたが、今年度はわずかではあるがそれを上回っている。生徒と保護者では肯定的な解答が増加しているのに対し、教職員とギャップが発生していることをどう捉えるかは考える必要がある。

◆質問 9

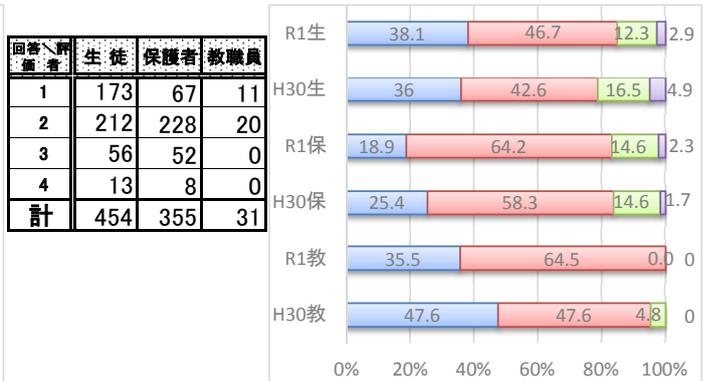
9. 黒南高は、挨拶・言葉遣い・礼儀・時間厳守などの社会性を育成していると思う。



昨年同様、生徒・保護者・教員の8割以上が肯定的な回答をしていて、生徒、保護者の肯定的な認識が若干増加している。3つの立場から見た認識のズレが少ないと言える。引き続き、家庭と協力して生徒自身の自覚を促すよう進めていきたい。

◆質問10

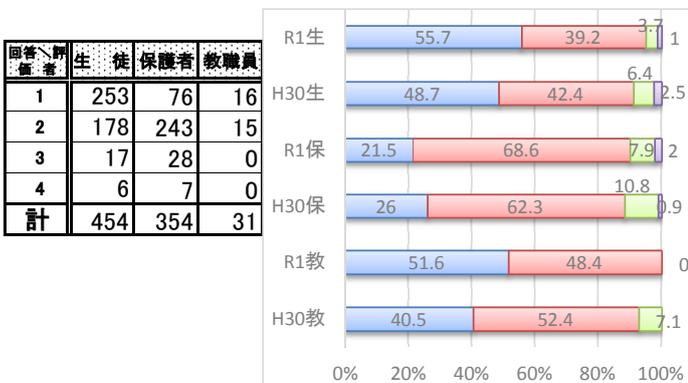
10. 黒南高は、いじめの未然防止や解消に取り組んでいると思う。



10割の教職員が「いじめの未然防止・解消に取り組んでいる」と答えているものの、生徒の肯定的な解答は85%である。昨年度と比べて生徒の肯定的意見は増加したが、いじめの対応には、教員と生徒側の感じ方にギャップがあり、これをどう解消していくかが課題になっている。

◆質問11

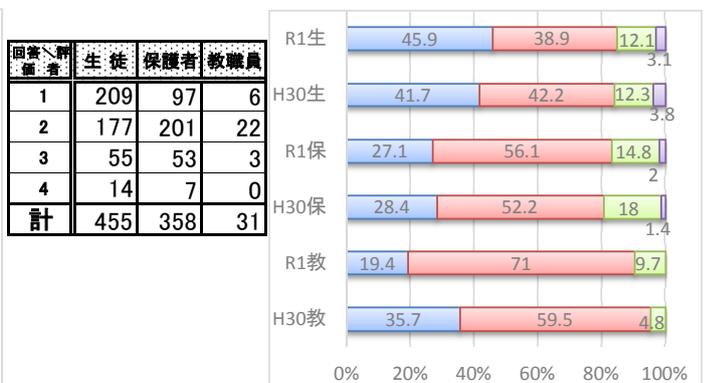
11. 黒南高は、交通・生活安全講話や薬物乱用防止講話、性に関する講話などを実施するなど、生命尊重の精神を育成していると思う。



今年度も肯定的な回答が約9割を占めている。特に、教職員の肯定的な回答が増えているが、高校生の交通事故や死亡事故が多発していることを踏まえ、今後も、日頃からの交通・生活安全指導や生命尊重につながる指導に引き続き力を入れていきたい。

◆質問12

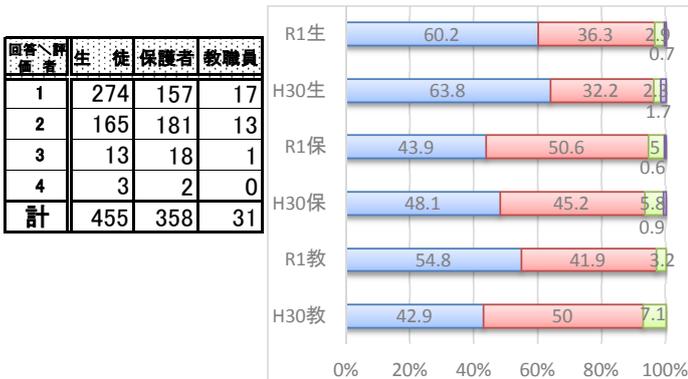
12. 黒南高は、部活動が充実していると思う。



教職員の「よくあてはまる」の割合の減少が目立つが、生徒の方は増加している。今後も、生徒たち自身が部活動にやりがいを感じられるよう、各部活動においてきめ細かな指導や充実した活動に努めていきたい。

◆質問13

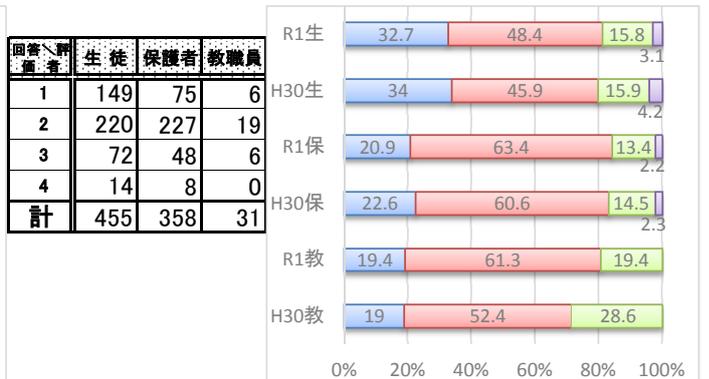
13. 黒南高は、外部講師の講演・海外研修・留学生受入れ等、国際理解教育に力を入れていると思う。



昨年度に比べ大きな増減はないが「よくあてはまる」「ややあてはまる」の肯定的な回答を9割以上頂くことができた。ただ生徒、保護者で「よくあてはまる」の割合が昨年度と比べて減っている。教職員は増えている。国際理解教育に新たな工夫が必要な時期が来ていると思われる。今後もより多くの教職員の理解と協力を得て国際理解教育に取り組んでいきたいと思う。

◆質問14

14. 黒南高は、校内の安全や衛生が、よい状態に保たれていると思う。

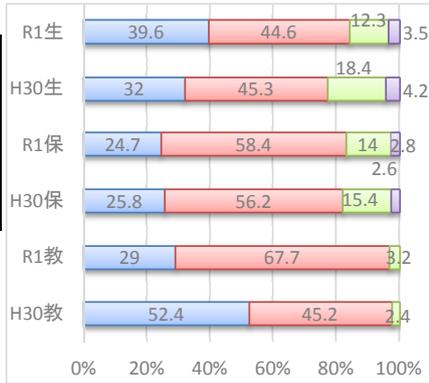


昨年度同様生徒、保護者の約8割が肯定的な回答であるが、生徒、保護者の「よくあてはまる」の割合が減少し、一方教職員が増加し、違いがでた。保護者は「校内の安全や衛生が保たれるよう取り組む必要がまだあると考えていると思われる。さらに、保護者の一部ではトイレの衛生面についての否定的な意見もあるので、努力を続けていく必要があると思われる。

◆質問15

15. 黒南高の先生は、悩み事の相談に親身になってのってくれていると思う。

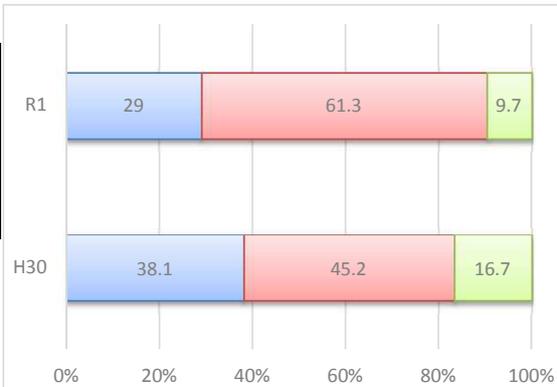
回答者	生徒	保護者	教職員
1	180	88	9
2	203	208	21
3	56	50	1
4	16	10	0
計	455	356	31



前年度と比較して保護者・教員の肯定的意見の総数に大きな増減はなかったが、教員の「よくあてはまる」に着目すると大きく減少しているのが目立つ。生徒の肯定的意見の総数は前年度より増加しているが、教員の感じ方と生徒・保護者との感じ方に開きがみられるため、教員側は普段から生徒の声に耳を傾ける等、丁寧な対応が必要だと感じられた。

【教職員】16. 私は、本校入学を中学生に対して自信を持って薦めることができる。

回答者	教職員
1	9
2	19
3	3
4	0
計	31



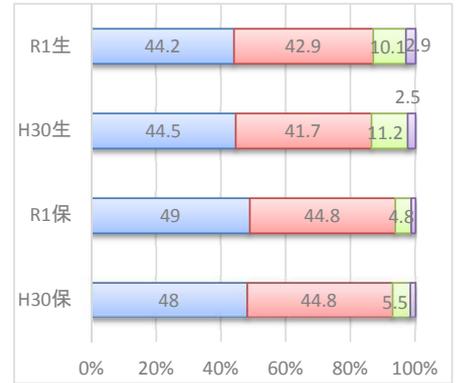
前年度と比較して『よくあてはまる』の割合が減少したが、『ややあてはまる』の割合が増加したため、全体的に肯定的な意見が増加している。今後本校の教育活動の充実を図るために、問題解決へ向けた取組が必要だと感じられた。

昨年度の学校評価アンケートを受け、教職員一同様々な角度から検討し、早急に取り組めることから改善に努めてまいりました。今回の学校評価においても、生徒・保護者の皆様から貴重なご意見・ご要望をいただきました。これらの結果を今後の教育活動や学校運営に生かし、保護者の皆様にご理解をいただきながら、特色ある学校づくりを進めていきたいと考えております。

◆質問16

【生徒・保護者】16. 私は(自分の子供が)黒南高に入学してよかった。

回答者	生徒	保護者
1	201	175
2	195	160
3	46	17
4	13	5
計	455	357

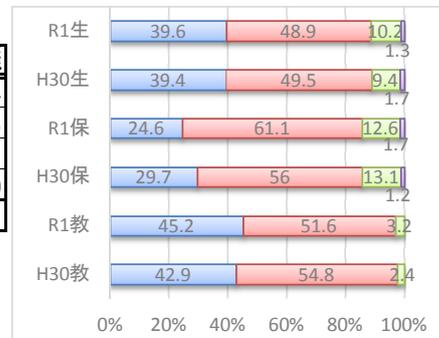


生徒及び保護者の肯定的意見は、ほぼ前年度と同じだった。しかし、生徒の約1割が否定的な評価だったので、より多くの人が納得できるような学校運営が必要だと思われる。

◆質問17

17. 黒南高は地域と共にある学校づくりを目指し、地域と連携する活動に力を入れていると思う。

回答者	生徒	保護者	教職員
1	178	86	14
2	220	214	16
3	46	44	1
4	6	6	0
計	450	350	31



活動には力を入れているが、生徒や保護者に学校の地域連携活動を周知することが不足していたためのこのような結果になったと考える。今後、活動により一層力を入れると同時に、活動に関する周知にも力を入れたい。